

令和元年度 第5回 小野申人といきいきトーク

とき	令和元年2月19日（水）19時～20時30分
ところ	上下保育所
テーマ	これから府中市の子育て支援について
出席者	上下保育所保護者9名 市長、唐川健康福祉部長、荻野教育部長、 山田女性こども課長、大川学校教育課主幹

今、府中市でも子育て・教育については、力を入れている。そうした中、まさに子育てをしている皆さんのお意見を聞きながら、今後の府中市の施策に反映していかなければと思っている。忌憚のない意見をいただきたい。



《子どもの遊べる公園・施設》

- 上下町内のことになるかもしれないが、子どもが遊べる公園・施設がない。新しい公園を作るというより、例えば、小学校の敷地内の遊具を開放してもらえるだけでも、子どもたちにとってもすぐ遊べる場所になるのではないかと思う。

原則として、学校の管理は、学校で、鍵も所有している。管理面の問題で、土、日・祝日に自由に解放というのはなかなか難しい。例えば、スポーツイベントなど、団体として申請があった場合は、鍵のレンタルという形で管理していただき、貸し出すことはしているが、自由に入り出するというのは難しい。



《医療》

- 夜間の小児救急、子どもを産める産婦人科がない。
- 北市民病院に小児科の先生が一人しかいない。高齢の先生なので、もう一人いらっしゃると助かる。近くに病院がなくなると、子どもを育てていく上で、とても不安になる。
- 皮膚科も曜日が決まっていて、その日に行けなければ、三次市に連れて行かなくてはならない。
- 祝日にみてくれる眼科がない。いざという時に開けてもらえるようにしてほしい。
- 扁桃炎になって、39度熱が2日続いたため、点滴をしてくれるよう頼んだが、してもらえず、しんどかった。点滴してもらった方が早く治るので、希望をきいてほしかった。

小児科の件については、皆さん切実に考えて希望されている。市も医療体制の確保のため、先生の要望をしているが、なかなか厳しい現状がある。

へき地医療の中では、総合診療といった、なんでも幅広く見ていただける先生に来ていただくようになっている。まずは、所見を北市民病院で受けていただき、重いよう



あれば、三次へ行くといった形を、中井先生や、市民病院の理事長と話をしている。総合診療の先生がどの程度まで診られるのかは不確定だが、24時間対応とまでは難しくとも、医療体制をなくさない、より充実させていくよう、要望や活動をしている。



市

《事業所への助成》

- ・ 市内の中小企業に9時以降の出勤、土・日、祝日は休み、長期休暇もあるといった子育てしやすい雇用形態にしてもらうため、市が助成金を出すなどすれば、子育てをしやすい企業を応援している市だよとアピールでき、企業も採用をアピールできる。

《トイレ》

- ・ 上下運動公園にトイレを設置してほしい。また、イベントをしたときに気軽に立ち寄れるトイレが必要。

管理棟も古くなっている、グラウンド一帯の整備方針を考えている。トイレも合わせてできればと思う。

商店街の中のトイレがなくなり、商店街の方の家のトイレを使えるよう協力いただいているが、公衆トイレでないと、行きにくい人もいる。そのあたりをどういう風に整備していくかを取り組もうと思っている。



市

《保育・子育て》

- ・ 早朝保育を先生が2人で対応しているが、2人では大変なのではないか。また、他市の保育園に預けていたことがあり、そのときに発達障害の子がいたが、15人の子どもに3人の先生がついていた。上下でも先生がもう少しついてもいいのではないか。増やすことで、その子も周りの子も、親も安心する。ハサミを使うときなど特に必要だと思う。

早朝7時からは、どの保育所も先生2人体制で預かっている。7時50分からは早出の職員が来るようになっている。

支援が必要な子に加配の職員をという話では、発達に応じてはあるが、支援が必要な子が2人いたら、職員を1人付けるという体制をとっている。年少は20人に1人の保育士の（配置基準）だが、府中市は、15人に1人の保育士を配置し、そこに支援が必要な子がいれば、さらに加配する体制になっている。1人ずつを見る保育士と、集団で見る保育士がいる。

集団の中で成長していき、その後の就学につなぐため、学校とも連携をとれるように考えている。



女
課

- ・ 広谷保育所の講演会に行ったが、上下からの参加は1人だけだった。こういった講演会を上下でも開催してほしい。
- ・ 気軽に相談できる場所が分からない。そういったところがどこにあって、何時から何時まで開いているとか、何歳までの子が対象なのかとかを知りたい。

支援センターがあるので、いつでも来てほしい。また、ネウボラコーディネーターの発案で、1～2時間母子相談の後に、みんなで話をする場を作つて試験的にやつている。相談は、保健師が専門的な見地からのアドバイスをするが、先輩ママさんから、同じようなことがあったよとか、お互い共感できる話ができる場も考えている。

- ・ 1歳半健診と3歳健診は上下ではしていないため、府中(リ・フレ)まで行かないといけない。また、1歳半と3歳を一緒にしてもらえれば、ありがたい。

4か月と10か月健診は上下とり・フレで開催しているが、1歳半と3歳の健診は医師も必要になるため、リ・フレだけでしている。これには、目的があって、同じ月に生まれた子どもたちが集まるので、ママさんたちにつながつてほしいという思いがある。健診などの理由がないと、なかなか仕事を休めないため、健診の後、子どもさんをスタッフが見ているので、お母さん同士で話ができるようなこともしたいと考えている。

また、お母さんや子どもさんにお会いするチャンスの機会を増やしていく一方で、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、皆さんが来ていただける場所を作つていただきたい。子育ては、お母さんだけがするものではなく、みんなでするものなので、もっと広げて、地域の方も一緒にになって子育てをしていく、育てていくという考え方についたい。

- ・ 仕事の日をしているため、集団検診に行くのが難しい。個人の病院でも健診を受けられるようにしてほしい。福山市はできると聞いている。

全員を集団検診にしているのは、成長の具合やお母さんの全員の状況を保健師が把握するためです。集団検診なら、確実にお会いできる。確かに、その日は休めないとか、体調が、とかあると思うが、そういった理由で、府中市では集団検診のみにさせていただいています。ただ、そういう意見があると伺つておきます。

《学校》

- ・ 小学校ののびのび学級で発達障害の子を支援していただいている。全体で8人いて、メインの先生が1人と、もう1人先生が来られるが、午前中で帰られたり、午後から来られたり、来られなかつたりする。8人体制ではなく、もう少し少人数で、見ていただけたら。

特別支援学級は児童生徒8人に対し先生が1人というのが県の基準。それに対し、午前中や午後にくるもう一人の先生は市費で配置しているところ。3学年以上の学年が含まれていて、5名以上の子どもがいれば、県教育委員会に対し、加配の要求ができるため、市も常に要求をしている状態だが、優先順位が高いところからになつてしまう。私ももっと先生がいれば助かるのにという現場を何回も見てきた。これからも要求を出し続けていく。今は、先生方同士でフォローしていただいている。

- ・ ADHLがあり、小学校の時、支援学級にいっていたが、上下中学校は当時そういう学級がなかったため、普通の学級に行った。今はどうなんでしょうか。



必要であれば、設置できます。ただし、薬を飲みながら普通の学級に通われる子もいるので、子どもさんの状態でということになります。

《学校給食》

- ・ 上下の小・中学校の給食は、市内で作って持ってくるので、冬は冷めてしまう。隣の甲奴町や吉舎は、そこだけの給食センターを持っているので、お願いできるところがあればそこで作ったものを持ってきてもらい、子どもに温かい物を食べさせたい。

《支所の体制》

- ・ 上下支所に助成金申請の話を聞きに行つたが、親と同居しているともらえないと説明を受けた。その後、子どもが保育所に入所するときに、女性こども課で話をしたら、申請すればもらえると言われた。聞かないと教えてくれないので困る。聞きに行っても、市役所に電話で確認しているので、市役所に行った方がいいのかなと思う。



支所でも受け付けできる体制はとっているが、制度の細かいところになると、どうしても支所ではなく、市役所になってしまふところもある。直接市役所に電話してもらえばと思う。

《情報発信》

- ・ 同世代の人と子育ての話をする機会が多く、関東の人と情報交換することがあった。府中市の保育所が生後半年からみてくれること、待機児童がないことなどは、アピールできるポイントだが、そこを全くといっていいほど知られていない。上下町のお年寄りと話をすると、子や孫に「上下は不便だし帰らん方がいい」と言われる。その意識を変えられるようなメリットを伝えていけたらと思う。具体的な数字を教えていただけたら、そういうお年寄りと話をする中で活用できる。
- ・ 府中市のいいところを知らない。今回ネウボラの話もそうですが、まずネウボラという名前も浸透していない。調べたから分かるけど、見れば見るほどいい制度だと思う。それを府中市の人やその周辺地域の人に上手にアピールしていただきたい。
- ・ 府中市にはこんなメリットがあって、上下にはこんなメリットがあってというのをどんどんアピールしてほしい。
- ・ 今はSNSの時代なのでfacebookなどで広めるなどいろいろ手段はあると思う。ただ、堅苦しい文面なら読まない。



情報発信が必要、また、働く中で、企業も一緒に取り組んでいくというのは、いいアイデアをいただいた。「子育てするなら府中市」を実現するよう、企業、行政一緒になって、土壌を作っていくたいと思う。